

\*横須賀を中心に近隣のみどころを紹介するコーナーです

# 第37回 田浦の近代化遺産を巡る



近代化遺産とは、幕末から第2次世界大戦期までの間に建設され、我が国の近代化に貢献した産業・交通・土木に係る建造物などです。その地域の人々の営みを示す貴重な歴史遺産を巡ってみましょう。(距離約4.5km、所要時間約2時間)

## 旧田浦町役場

大正15年(1926)の竣工。鉄筋コンクリート2階建。アールデコ風の役場としては当時モダンな建物。横須賀市に合併した町役場で現存しているのはこのみ。現在使われていない。



## ガントリークレーン跡

大正3年(1914)竣工。国産の鋼材(八幡製鉄製)が使用された。付近に引込み線跡も残されている。ガントリークレーンは平成25年(2013)に解体された。この辺りは海の景観が良い。



## 旧海軍軍需部の倉庫群

大正6年(1917)竣工のF号倉庫を始めとする旧海軍軍需部の多数の倉庫が立ち並ぶ。企業等の敷地内にあり外観のみ見ることができる。



## 旧造兵部本庁舎

東芝ライテック正門からのぞくと左手の奥に見える白い建物。直線を基調とした鉄筋コンクリート造りで大正2年(1913)竣工。製図工場が2階にあった。企業内敷地内にあり近寄っての見学は不可。

## JR田浦駅・七釜トンネル

明治・大正・昭和と3代のトンネルが並ぶ。中央(下り線)のトンネルは明治22年(1889)、右側(上り線)の煉瓦積は大正13年(1924)、左側は現在は使われていないが、旧軍需部への引込み線として昭和18年(1943)に造られた。平成28年(2016)に日本遺産の構成文化財として認定された。



## 引込み線(交差)

JR田浦駅から箱崎方面へ続く線路が比与宇トンネルと長浦港倉庫街を結ぶ線路と交差している。昭和50年代まで貨物列車が見られたが現在は使われていない。



※トンネル内部は歩道と車道の段差がない(白線のみ)ので注意しましょう。